

World's Window

さあ、窓を開けて世界をのぞいてみようよ



Vol.68

メキシコへの旅



世界の国々の地域や文化を紹介するコーナー「ワールズ・ウィンドウ」！
案内役は、国際交流員 カレン・イートンさんとアレックス・ロザウスキさんです。

Hello! アレックスです。今回はわたしが小さい頃体験した旅行について紹介したいと思います。わたしの家族は今でも冬になるとフッドリバーから南下して温かいメキシコへ旅行しています。そこはまるで南国の樂園のようなんです！

わたしが小学校4年生の時、家族でメキシコのバハカリフォルニアへ旅行し、両親はわたしを驚かせました。さらに良いことに、その旅行は4か月にもわたり、フッドリバーの冬からすっかり逃れることができました。父は旅行中の生活場所としてピックアップトラックとトレーラーハウスを買いま



△キャンピングカーとキャンプ風景

した。その後、そのトラックにキャンプ用品とウインドサーフィンやシュノーケルの装備を積んで、12月に南下する長旅へと出発しました。運転は長時間かかりました。わたしたちは祖母に会うためロサンゼルスに1週間滞在し、一緒にクリスマスを過ごしました。フッドリバーからロサンゼルスまでは車で15時間ぐらいなので、たどり着くまでには2、3日かかりました。ロサンゼルスは旅のほぼ中間地点で、最終目的地はメキシコのロスバリレスという小さな町です。ここは釣りやウインドサーフィンで有名な所で、冬には観光客で賑やかな町です。ロサンゼルスからロスバリレスまでは20時間ぐらいかかりますが、わたしたちはメキシコ観光をしたかったので、バハカリフォルニアまでゆっくり南下しました。バハカリフォルニアはほとんどが砂漠地帯なので、多くの小さな町は、天然の泉や水源があるオアシスの周りに集中しています。

わたしたちは、サンイグナシオ湾に一泊しました。この辺はホエールウォッチング（クジラ観察）で有名な所です。早起きしてパンガに乗って出掛けました。パンガとは全長6メートルほどの小さな漁船のことです。ガイドは30分ぐらい運転した後「ここがホエールウォッチングの場所です」といい、モーターを切って待ちました。すると約15分後、二頭の大きな灰色のクジラがボートの側に顔を出しました。クジラは利口な動物で、わたしたちに興味を持っていました。クジラたちはひれで船を優しく叩き、わたしたちを見るために船の横に浮上しました。クジラが船の近くにきたので、手で触れることもできました。

生物学者は世界中に存在する灰色クジラは2万2千頭と推測

しています。かつて「デビルフィッシュ」と呼ばれた動物と平和的に会うことが出来て幸運だと思いました。

次の日、旅を続けロスバリレスへ到着しました。そこは人口1万7千人ぐらいのかなり小さな町で、その内の1,500人は一年中住んでいる外国人（アメリカ人やカナダ人）です。わたしたちはキャンプ地に泊まりました。そこには100人ほどの外国人がいたので、同じ年齢の遊び友だちを見つけることができました。日常生活は、2、3時間勉強したり、ウインドサーフィンのレッスンをしたり、海で泳いだりして過ごしました。その辺にはサンゴ礁がたくさんあるので、魚はとてもカラフルできれいでした。素手で小さい魚を捕ることを覚え、潮溜まりにいる小さなえびや魚を捕まえていました。しかし捕まえてもまた海へ返していました。

その後、わたしの父は毎年冬にウインドサーフィンをするために、また冬から逃れるために、バハカリフォルニアに行っています。わたしもその後4回行きました。プロのウインドサーファーたちや地元のメキシコ人たちと遊び、信じられないほど楽しい釣りをし（3人で90分間釣りをして合計18匹の魚を釣りました）、たくさんの素晴らしい経験をしました。



△メキシコ・バハカリフォルニアの夕陽